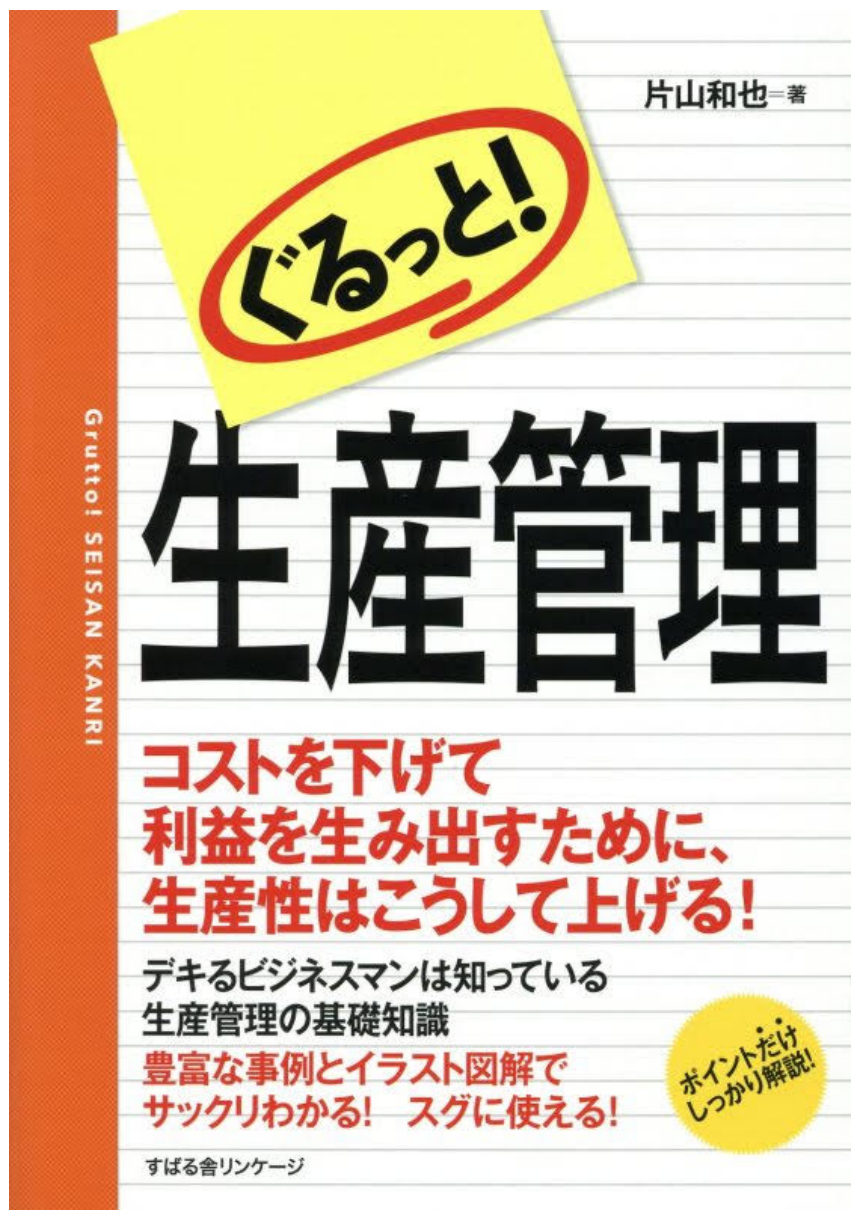


無線アンドンシステム「ソネット君」が
船井総合研究所、片山和也様の
書籍で紹介されました。



片山和也 著

ぐると!

Grutto! SEISAN KANRI

生産管理

コストを下げて
利益を生み出すために、
生産性はこうして上げる!

できるビジネスマンは知っている
生産管理の基礎知識

豊富な事例とイラスト図解で
サクサクわかる! スグに使える!

ポイントだけ
しっかり解説!

すばる舎リンクージ

「生産管理」の代表的な方法の章で 自動化を実現するツールの 一例として紹介されています。

26

トヨタの自動化とは 「ニンベンのついた自動化」とは？

何か異常を感じたらすぐに生産ラインを止める！

トヨタ生産方式を語る際に、カンバン方式と同じくよく登場するキーワードに「自動化」という言葉があります。

自動化とは「ニンベンのついた自動化」と言われるもので、すなわち生産ラインに何か異常があったら人の判断でスグに止める、という考え方です。

これは、口で言うのはたやすいことですが、実際に実行するのはかなり勇気がいることです。なぜなら生産ラインを止めると生産がストップし、その間は工場にとって大きな損失になるからです。

しかしトヨタでは少しでも気になる点があったら、迷うことなくラインをストップする様に現場作業員に対して、徹底して教育しています。

自動化を実現するツール、「アンドン」

そのために使用される有名なツールが「アンドン」と言われるものです。

アンドンにはヒモがついており、このヒモをひくと、元の言葉の「行灯」のようにアンドンが点滅して生産ラインが止まり、トラブル解決のスタッフが生産ラインにかけつけます。

普通の会社なら「生産ラインを止めたら大きな迷惑をかけてしまう……」と、ささいなことで生産ラインを止めることに躊躇することでしょう。しかしそこで躊躇させずにラインを止めるのが、トヨタで言う「自動化」なのです。

そしてそこまでしてでも「つくり過ぎのムダ」を防ぎたい、ということなのです。

つくり過ぎのムダを防ぐための自動化

何か異常を感じたら、スグに生産ラインを止める！

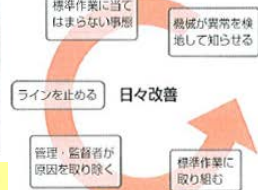


アンドンの例



ワイヤレスタイプのスイッチと無線アンドン
出典：株式会社パンフィック掲載

トヨタの自動化の考え方



出典：トヨタ自動車株式会社ホームページより

日々のトラブルからも改善のテーマを探し出し、反映させるのがトヨタの自動化の考え方なんだ！